



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告 2019年11月号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

参加者募集 静岡県議会 傍聴 (落合慎悟県議質問)・県施設見学会開催

日程 12月12日(木)

参加費 1人3千円 (バス・昼食代・入場料)
募集 120人 申込順 申込締切 12月3日(火)
申込方法 落合慎悟事務所
電話 054-645-8100 FAX 054-645-8111

日程

09:00~09:30 藤枝市内各地出発
11:10~12:10 落合慎悟県議質問傍聴
12:10~13:00 県庁で昼食・写真撮影
13:40~16:30 日本平「夢テラス」と「久能山東照宮」
17:30~18:00 各地帰着

本会議 質問内容 (変更になる場合もあります。)

- 産後ケアの取組について (0歳児虐待の増加から、産後の母親を県が率先して支援していく市町支援体制の確立)
- 農林環境専門職大学 (来年4月開校の専門職大学の学生募集状況と教育方針)
- 中小企業強靱化対策 (県内の中小企業数の急激な減少や商店街の減少など対策としての中小企業の強靱化を推進)
- リニア中央新幹線 (南アルプスの断層や破砕帯に存在するセレンやヒ素など危険な重金属の処理対策・水枯れ等)
 - ①地質が複雑、かつ、毎年3~4mm隆起。断層破壊帯がある。(JR東海は2箇所(長さ900mと1200m)の水平ボーリング調査しかしていない)
 - ②南アルプスの自然環境は極めて脆弱、ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に登録された自然環境悪影響を回避。
 - ③大井川の水は志太榛原地区・菊川、掛川市などの飲料水、工業用水、農業用水等、多様に利用されており、不足気味(2018年の節水対策実施日95日)
 - ④トンネルは地表から最大1400m下(土被り1400m)かつ、大井川の下をトンネルが通る。トンネル面は、過去に例のない大きな土圧、水圧を受ける。
 - ⑤どの程度の湧水量が発生するかなど、工事自体に不確実性と危険度が高い。自然環境への程度影響を及ぼすかについても、不確実性とリスクが高い。
- 志太地域の道路整備 (志太中央幹線と小川島田幹線の静岡県・藤枝市・焼津市の工事分担や工事計画について)
- 優秀な警察官の確保・育成 (若手警察官の退職状況と指導教育方針)
- 全国学力学習状況調査結果 (学習状況生徒質問から『秋田県・福井県の子ども』との「生活習慣の違い」について)
- 全国キャリア教育大賞とキャリア教育について (将来、期待される社会人となるためのキャリア教育実践)

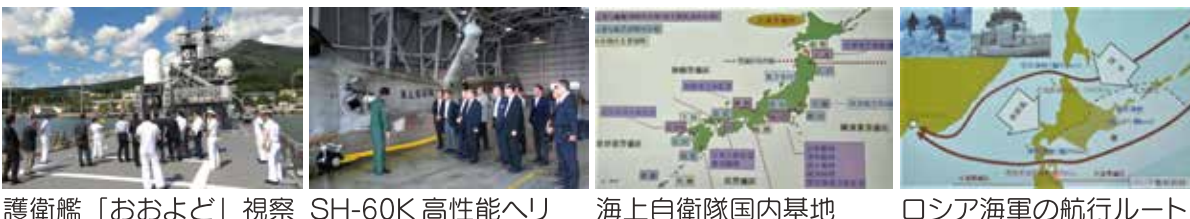
<2018年3月実施の議会傍聴と富士山世界遺産センター視察> 今回は「日本平夢テラス」と「久能山東照宮」拝観



9月11~12日 自民改革会議 防衛議員連盟青森県視察

日本近海の警戒監視・領空侵犯の状況、災害派遣の状況を視察調査

青森県むつ市海上自衛隊大湊地方隊 総監部・第25航空隊



護衛艦「おおよど」視察 SH-60K高性能ヘリ 海上自衛隊国内基地 ロシア海軍の航行ルート

海上自衛隊には日本沿岸の防衛・警備、自衛艦隊の支援を担う5地方隊(大湊、横須賀、舞鶴、呉、佐世保)、自衛艦隊(護衛艦隊、潜水艦隊、航空集団、掃海隊群、情報収集軍)、補給本部・学校等がある。
大湊地方隊は北海道沿岸防衛のロシア艦隊警戒である。25航空隊は哨戒機部隊として護衛艦に搭載され、周辺海域警戒監視ほか、アフリカ海賊対処行動に従事している。大湊地方総監の下で青森以東の災害派遣にも従事する。

青森県三沢市航空自衛隊北部方面隊三沢基地 第3航空団



航空自衛隊概況説明 F-2戦闘機に試乗 戦闘機部隊の配置

航空自衛隊は北部、中部、西部、南西の4個方面隊で日本防衛を担任、各部隊全て航空総隊司令官の指揮を受ける。北部方面隊は北海道、北東北区域の防衛を任務とし、三沢基地に司令部がある。基地の第3航空団には最新の戦闘機F-35AとF-2が装備されている。
全緊急発進回数は30年度999回で、内訳は中国638回、ロシア343回、南西防空が596回、北部防空は277回。
三沢基地は日米共同基地で米軍3,400人、空自3,000人

落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838
TEL 054-645-8100
FAX 054-645-8111
メール s.o@thn.ne.jp
http://www.ochiai-shingo.jp



藤枝駅南口・北口『ルミスタ☆ふじえだ』点灯セレモニー



11月9日(土)点灯式に歌手の秋川雅史さんを招いて盛大に開催された。スペシャルライブ、ジャズコンサート、ブチマルシェ「ルミスタマーケット」ルミスタ☆ふじえだ10周年記念餅配布などが行われた。

静岡県議会報告

五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



4月26日正副議長の退任式!! 5月20日臨時県議会開会前の新県議全員協議会を座長運営!!



4月29日で4年間の議員任期終了。26日に正副議長の退任式があり、副知事、各部長、職員に見送られて県庁を退出。5月20日、4月選挙当選の新議員を招集、臨時議会の開会、前議長は引退したので前副議長の私が全員協議会を運営した。

30年度全国児童相談所、児童虐待件数過去最高15万9,850件、子ども虐待死65人!!

児童虐待相談件数は、28年連続で増加。増加の主な要因は「心理的虐待」に関わる件数と警察からの通報が半数を占める。心中虐待死13人を除くと虐待死は52人となる。0歳児が28人と5割を占め、月齢0か月が14人を占めた。司法解剖の了承が得られず虐待死と断定できない事例は含まれないため、虐待死の可能性のある子どもの数は3から5倍潜在と推測される。私事で恐縮だが、10月に娘が双子を出産し、3歳の長女と共に実家の我が家に来ている。一人でも大変な子育てだが、双子の世話で現在、家内とてんてこ舞っている。「ミルクだ!おむつだ!お風呂だ!」泣くのが合宿!!
豊田市の母親が、三つ子の世話で次男が泣き止まず、投げ落とした事件も分からないでは無い。子育て支援対策を緊急に確立!!

国の景気判断「悪化」先行指数91.7、上場企業2期連続減益!!県20年度中小企業強靱化を推進!!

企業業績の悪化が続いている。上場企業の2020年3月期の純利益は、前期比4%減と2期連続減益の見通し。自動車販売の低迷や米中対立を懸念した設備投資減少で、幅広い製造業で減益が減少する。需要が減る中で競争は激化し、中国企業の攻勢も業績悪化の要因となってきた。日本経済の停滞につながりかねない。静岡県は自動車・電機関連の製造業が多い、支援対策を検討!!
県は6日の県産業成長戦略会議で、2020年度版戦略の骨子案を示した。中小企業の強靱化推進など5項目の柱で構成、経営力や生産性の向上、IoT・ロボットの導入、事業承継の促進を盛り込み、産業人材の確保・育成や企業誘致・定着の推進なども柱に据えた。

厚労省が予防医療の取組不足自治体「罰則」で交付金減額!!高実施率自治体に手厚く配分!!

2020年度から予防医療事業ごとに加減点を設け、実施率の低い自治体には原点に応じ交付金を減らす。実施率の高い自治体には配分する。企業と連携した健康教育など新たな指標も作る。厚労省と財務省は関連予算枠を5割増しの1500億円規模に拡大!!
「予防医療」で政府は医療抑制策を推進。官邸主導で、旗振り役をしている経済産業省はヘルスケア産業を育成!! 財務省の考えは「予防に医療費抑制効果はない、医療費自体を削らなければ意味はない」だったが、日本医師会が猛反発で変わった。予防を重視する流れが強まれば、個人の自己責任論が高まりかねない。「疾病には遺伝や育った環境も大きく影響する。」懸念がある!!

お陰様で、4月の県議選で当選でき、静岡県志太地域を中心に活動しております。今回主に取り組み、春から実施した瀬戸川、朝比奈川の浸漬事業は、台風19号での河川の流れの水位を下げ、暴れずに流れたことで大きく効果があったと思います。お礼の電話も自治会長・町内会長から多くいただきました。これからも地域の住民を守る対策に、しっかり取り組んでまいります。

9月議会 知事報告

9月8~9日に最接近した台風15号により、伊豆地域を中心に、被災されました皆様にお見舞申し上げます。



清水港の新たな将来像

明治32年開港から本年で120年を迎えた。8月に長期構想を策定。「スマートガーデンポート清水」を基本理念に次世代型コンテナターミナルや国際クルーズ拠点形成、災害時の緊急物資受入拠点など方向性を定めた。

次期総合戦略策定……5年間の取組を総括し、人口減少に抑制と適応の両面からの取組み等、地方創生実現に向け策定。子どもの安全確保対策……子ども達の尊い命を守る為、防犯講座や通学路整備等、県全体の緊急対策アクションを策定。昭和55年施行「地震財特法」……国庫補助率高上げ等7回延長されたが、本年度が期限。7都県と連携し延長を要請する。多文化共生社会の実現……外国人児童生徒の日本語指導の充実や総合防災アプリ「静岡県防災」の多言語化を実施する。ICT人材確保・育成……7月ICTベンチャー56社と県内企業の商談会を開催、来場者3000人、商談は300件を超えた。マリンバイオテクノロジー推進……大学や研究機関のシーズと地域企業ニーズのマッチングを促進し、海洋産業を振興。茶産業……GAP認証取得促進、茶業研究センターが開発「香り緑茶」等の新商品開発や販路開拓支援で新たな需要創出。農林環境専門職大学……文科省から認可された。来年4月開校に向け、施設整備や学生募集などの準備に万全を期す。豚コレラ対策……感染源とされる野生猪への経口ワクチンの散布を岐阜県と愛知県に加え、隣接する7県に拡大した。サクラエビ資源……厳い自主規制の結果、85.3tの水揚げだった。経営悪化の漁業・加工業者に低利な運転資金を提供。リニア新幹線……静岡工区進め方は国交省・静岡県・JR東海三者で合意、国交省は専門部会検討を見守、促進に努める。JRは約束した「トンネル工事に伴い流出する湧水は全量戻す」責任がある。地元の不安払拭に全力で取り組む。ラグビーワールドカップ2019……20日に開会、エコパでは日本対アイルランド、南アフリカ対イタリアなど4試合開催。東京2020オリパラ……7月の自転車ロードレーステストイベントは観客輸送、医療救護体制に大きな混乱は無かった。富士山保全協力金……5700万円余の協力を頂いた。富士山の環境保全、登山者の安全対策などの一層充実活用する。富士山静岡空港……国内線が40か月連続で前年同月を上回った。開港以来今年で600万人。ビジネスジェット受入拡大。

9月常任委員会報告



リニア中央新幹線問題は主として、くらし環境部が担当のため、建設委員会関連のみの質問となった。畑藪断層や破砕帯をトンネル通過により、流量減少問題・ヒ素、セレン等の重金属による流域汚染課題については12月12日に本会議で質問する。

第142号議案土木工務委託契約……(都)焼津広幡線道路改築工事24億3246万800円でJH中日本と函渠工を契約。国土強靱化3か年緊急対策……河道掘削・堤防嵩上・橋梁補強・土砂災害防止に9月まで県事業費累計279億45百万円。社会資本長寿命化推進……従来保の保全管理は30年度(198億円)の1.7倍増大。予防保全実施で1.1倍(220億円)に縮減。中央新幹線……JR東海は、本線と導水路トンネル等が河川と地下交差する箇所は河川法第24条、26条許可が必要。河川管理者の県は「治水上又は利水上の支障を生ずるおそれがないこと」など審査基準で古く判断を行う。静岡県建設産業ビジョン……年間労働時間、現状2220時間(4週5休)、5年後2100時間、10年後1900時間(週休2日)。建設現場の生産性向上……ICT活用・新工法工事の積極的導入、3K解消、若者や女性に魅力ある産業転換で担い手確保。子どもを守る交通安全対策緊急事業……ポストコーン設置・路肩のカラー舗装・側溝の蓋掛等、約150箇所対策予定。大規模洪水減災対策……浸水想定区域の見直し及び市町の洪水ハザードマップの作成支援、危機管理型水位計の設置。中小河川災害等予防保全緊急対策事業……災害拠点・公共施設浸水被害2か年河川防災整備20億円、長寿命化18億円。津波対策……市町防潮堤整備に県は財政支援できない、他事業と連携で支援する。JH中日本から土砂10万m³無償提供。三保の松原景観改善……L型突堤1号完成、消波堤実施と年間5万m³サンドリサイクル養浜実施。土砂災害対策……県土73%山地、急峻な山地や崖地、断層や破砕帯等脆い地質が全県分布、極地豪雨が頻発化・激甚化。県は年約50件土砂災害が発生(全国1015件)、3年間で89箇所整備(累計1899箇所)警戒指定18581箇所。焼津漁港取組……昨年水揚483億円で全国1位、水揚量17万tで全国2位。南防波堤耐津波強化・大水深岸壁の整備。公共交通自動運転導入……2019年実証実験計画、車両3種類、提携2大学11社、松崎町・下田市・沼津市・袋井市。

川勝知事に退任あいさつ



護衛艦「おおよど」視察



台風19号10月12日夕方上岡間地区葉梨川堤防確認



台風19号10月15日屋嶺茨木郡那珂川堤防決壊現場